

## 学校長挨拶

平成 26 (2014) 年に川崎市初の公立中高一貫教育校として産声を上げた川崎高等学校附属中学校も開校 7 年目を迎えました。本校は、「こころ豊かな人になろう」を学校教育目標とし、人権感覚豊かで高い志をもって根気よく学び続け、国際都市川崎をリードするたくましい人材の育成を目指しています。この 6 年間、開校時の理念に基づき、生徒・保護者・教職員が一体となって学校づくりに勤しんできました。生徒たちは様々なチャレンジをし、多くの功績を残してきました。そして教職員は、これからの時代に生きる生徒に求められる力の育成に向け、様々な学習の在り方や活動を創造し、力を尽くしてきました。これまでの実績を踏まえ、生徒たちと共に新たな挑戦をしていきたいと考えています。

心身が大きく成長する中学生という発達段階における学びは、とても大切だと考えます。頭や体をフル回転させて鍛え、人として最も大事な心を磨いていくことは、一人の社会人として生きていくための基礎をつくり上げることです。

このような大切な時期に、高校受験の影響を受けずに深く学ぶことができるという点が、中高一貫教育校の大きな特徴です。附属中学校ではこの特徴を生かし、中身の濃い学びができると期待しています。中学生という心も頭も柔らかく、何でも吸収できる時期に、ぜひ、より深い学びで自分の力を伸ばして行ってほしいです。

川崎高等学校附属中学校では、「体験・探究」「ICT活用」「英語・国際理解」の3つをキーワードとして、教育活動を展開しています。実体験を通して探究的に深く学ぶこと、情報化社会に必要なICTを有効活用して学びを一層豊かなものにする、人権尊重教育を基本とする国際理解教育を大切に、様々な人と上手にコミュニケーションを図りながら協働的に物事を解決できる力を養うこと、併せてそのためのツールとして英語力を身につけること、これらを柱として取り組んでいます。これからの時代には、持っている知識を活用しながら仲間と協働して複雑な課題を解決していく中で、新しい価値を生み出していく力が求められます。本校では、6年間の一貫教育を通して、そのような力を培うことを目指しています。生徒たちが生き生きと学んでいけるよう、教職員一同全力でサポートします。

川崎市立川崎高等学校附属中学校  
校長 植村 裕之